

3. 実施内容

Contents

【1】実施体制の整備

1. 「青森COC+推進機構総会」の開催

平成27年11月26日(木)、「オール青森で取り組む『地域創生人財』育成・定着事業」に参画する9大学1高専、青森県、青森市・弘前市・八戸市・むつ市の4市による「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)に係る連携・協力に関する協定」が締結されたことをうけ、「青森COC+推進機構総会」を開催した。

第1回目となる本総会では、青森COC+推進機構の設立と、機構長に佐藤弘前大学長、副機構長に花田青森中央学院大学長と岡田八戸工業高等専門学校長、監事に上泉青森県立保健大学長と大谷八戸学院大学長が就任することが承認された後、活発な意見交換が行われた。

総会後は、連携する企業やNPOらの関係者も交えた情報交換会が開催され、佐藤弘前大学長、青山青森県副知事、加賀谷青森市副市長、葛西弘前市長、奈良岡八戸市副市長、宮下むつ市長が挨拶し、花田青森中央学院大学長が乾杯の挨拶を行った。

会は和やかに進んだ後、中締めとして永澤弘前商工会議所会頭が挨拶し、大学等、自治体、企業・NPO等による「オール青森」体制の結束を深めた。



青森COC+推進機構総会



佐藤 弘前大学長 (情報交換会)



青山 青森県副知事 (情報交換会)



加賀谷 青森市副市長 (情報交換会)



葛西 弘前市長 (情報交換会)



奈良岡 八戸市副市長 (情報交換会)



宮下 むつ市長 (情報交換会)



花田 青森中央学院大学長(情報交換会)



永澤 弘前商工会議所会頭 (情報交換会)

2. ブロック会議

ブロック事業では、青森県を青森市・弘前市・八戸市・むつ市を中心とした4つのブロックに分け、それぞれブロックを核とした事業を展開する。このため、各ブロックごとに大学・自治体・企業等の担当者によるブロック会議を開催し、各ブロックの地域の特性を踏まえた現状や課題についてあらためて情報共有と共通認識を図り、当該特性を踏まえた事業を検討した。

平成27年度に開催された各ブロック会議は以下のとおり。

■青森ブロック

日 時 平成28年2月12日(金) 13:00～14:30

場 所 ホテル青森 3階「はまなすの間」

- 議 事：
- 1 出席者自己紹介
 - 2 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)の概要について
 - 3 青森ブロックでのこれまでの検討事項及び今後実施予定の事業・取組について
 - 4 その他(意見交換)

日 時 平成28年3月29日(火) 13:30～15:00

場 所 ホテル青森 4階「桃の間」

- 議 事：
- 1 青森ブロックでの進捗状況及び今後の予定について
 - 2 女子学生のキャリア支援プログラム開発の取組状況について
 - 3 平成28年度COC+関連青森県事業について
 - 4 平成28年度COC+関連青森市事業について
 - 5 意見交換
 - 6 その他



■弘前ブロック

- 日時 平成28年1月22日(金) 10:00～11:00
場所 弘前大学 総合教育棟2階 大会議室
- 議事:
- 1 構成員自己紹介
 - 2 ブロック事業について
 - 3 各大学による提案・報告
 - ①各機関が現在実施している事業・取組の中で、他機関等の連携協力を得て拡充したい取組について
 - ②今後、弘前ブロック事業として取り組むべきテーマや事業について
 - 4 意見交換
 - 5 その他



■八戸ブロック

- 日時 平成27年12月1日(火) 15:00～16:00
場所 八戸工業高等専門学校 管理棟3階 中会議室
- 議事:
- 1 採択になったCOC+申請書とH27調書の内容確認(三八地区担当の分)
 - 2 H27年度予算使途について
 - 3 H28年度事業案について
 - 4 その他

- 日時 平成28年2月1日(月) 13:30～14:30
場所 八戸工業高等専門学校 管理棟3階 大会議室
- 議事:
- 1 平成27年度事業について

(1)ブロック事業

- ①COC+八戸ブロック キックオフ・フォーラム
- ②青森県内企業限定 「あおり企業内容説明会」
～身近な企業をもっと知ってみよう～

(2)各大学で実施

- ①視察関係
 - ②雇用創出連携プロジェクト会議の開催、出席
 - ③その他
- 2 平成28年度の事業について
 - 3 その他



■むつブロック

日時 平成28年2月22日(月) 15:00～16:00

場所 むつ市役所本庁舎 第2会議室

- 議事：
- 1 出席者紹介
 - 2 COC+事業「オール青森で取り組む『地域創生人財』育成・定着事業」等について
 - 3 各機関からの発表・情報交換等
 - ①各機関が現在実施している事業の中で、他機関等の連携協力を得て拡充したい取組について
 - ②今後、むつブロック事業として取り組むべきテーマや事業について
 - 4 意見交換



3. コーディネーター会議

平成28年2月3日(水)、本事業推進のための進捗管理、連絡調整等を遂行するCOC+推進コーディネーターがキックオフとして、コーディネーター会議を主宰し、各ブロックの進捗状況及び今後の予定について意見交換を行った。

- 日時 平成28年2月3日(水) 14:30～16:30
場所 青森国際ホテル 本館2階 高砂の間
議事：
1 本会議の趣旨説明
2 コーディネーターの役割
3 各ブロックの進捗状況及び今後の予定
4 その他



4. 「COC+シンポジウム」の開催

平成28年3月11日(金)、「COC+シンポジウム」を青森中央学院大学学術交流会館で開催した。

このシンポジウムは、平成27年度に文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択された「オール青森で取り組む『地域創生人財』育成・定着事業」の周知と認知度向上を目的に、「大学と地域が協創する青森の未来」をテーマとして開催され、教職員、学生、自治体関係者、企業関係者、県内在住者ら約200名が参加した。

青森COC+推進機構長の佐藤敬弘前大学長による挨拶の後、第一部では、文部科学省大臣官房審議官(高等教育局担当)の義本博司氏による基調講演「地方創生と大学」、青森県企画政策部企画調整課総括副参事の丸尾豊氏による報告「青森県における地方創生」、弘前大学4年の島中勝司さんと青森中央学院大学4年の千葉美輝さんによる「学生メッセージ」の発表が行われた。

続いて第二部では、「大学と地域が共に担う人財育成－学生たちとの地域[共育]を考える－」をテーマとしたパネルディスカッションが行われた。パネリストを義本氏、丸尾氏のほか、曾我亨弘前大学副理事・人文学部教授、21世紀型集会所indriya代表の大西晶子氏が、コーディネーターを青森COC+推進機構の吉川源悟氏が務め、各パネリストから青森県の地方創生に貢献できる人財の育成や学生の県内定住への意見が発表された後、参加者との間で活発に意見が交わされた。



佐藤 敬 青森COC+推進機構長による挨拶



義本 博司 文部科学省大臣官房審議官による講演



義本 博司 文部科学省大臣官房審議官による講演



丸尾 豊 青森県企画調整課総括副参事による報告



弘前大学4年 島中 勝司さんによる発表



青森中央学院大学4年 千葉 美輝さんによる発表



パネルディスカッション



吉川 源悟 COC+推進コーディネーター



曾我 亨 弘前大学副理事・人文学部教授



大西 晶子 21世紀型集会所indriya代表

【2】教育改革

1. 「教育プログラム開発委員会」の開催

平成28年2月19日(金)、「教育プログラム開発委員会」を弘前大学総合教育棟2階大会議室にて開催し、事業協働機関である大学等、自治体、企業・NPO等から選出された委員21名が出席した。

教育プログラム開発委員会は弘前大学理事(教育担当)を委員長とし、地域創生人財の育成に係る「共育型インターンシップ・プログラム」、「女子学生のキャリア支援プログラム」、「起業実行プログラム」などの教育プログラムを開発するために設置され、各プログラムについてワーキンググループを形成する。

初開催となった本委員会では、各ワーキンググループの主査校である、青森中央学院大学の塩谷未知キャリア支援センター長・経営法学部教授、青森県立保健大学の角濱春美看護学科教授、八戸学院大学の丹羽浩正副学長・ビジネス学部教授が副委員長に選出され、その後、各教育プログラム開発についての進捗状況が報告された。



2. 共育型インターンシップ・プログラム

共育型インターンシップ・プログラムのワーキンググループ主査校である青森中央学院大学が主体となって、ワーキンググループを2回開催し、青森型の共育型インターンシップのガイドライン作成を目指して情報収集・意見交換を行った。

また、平成28年3月3日(木)には、青森ブロックが主催する「共育型インターンシップシンポジウム～地域と企業と学生が共に育てあう『あおもり』を創る～」を青森国際ホテルにて開催し、大学、青森県、事業協働機関につらなる企業・NPOなど約70名が参加した。

先進地域事例として、「首都圏の学生を地方に送り出す仕掛けづくり」(NPO法人ETIC.プロジェクト事業部マネージャー)、「大学のない地域に若者を呼び込む工夫」(株式会社夢古道おわせ支配人)、「企業だけに頼らない長期インターンシップ」(株式会社ルーツ)が示された後、青森の共育型インターンシップのあり方についてワークショップを行った。



3. 女子学生のキャリア支援プログラム

女子学生のキャリア支援プログラムのワーキンググループ主査校である青森県立保健大学内に、女子学生のキャリア支援に係る検討組織を立ち上げ、3回の会議を開催したほか、連携大学メンバーを含む「女子学生のキャリア支援ワーキンググループ全体会議」をホテル青森にて2回開催した。

また、就職を決定した学生及び就職して1～3年程度の卒業生に対するインタビュー調査の実施、青森県立保健大学4年生を対象とした就職に関わるアンケート調査、県内外の関係者・関係機関に対するインタビューや実地調査を実施した。



4. 起業実行プログラム

平成28年2月11日(木)、八戸ブロックが主催するフォーラム「地域に根ざして起業するために―戦略から事業プランまで―」を八戸グランドホテルにて開催し、大学、青森県、八戸市、むつ市、八戸商工会議所、NPOなど約120名が参加した。

本フォーラムでは、起業に関する2つの講演「起業して長く続ける経営者になるために」(株式会社MMコンサルティング代表取締役)、「戦略視点からの青森型起業とは」(八戸学院大学長)を行った。



5. 「弘前大学COC・COC+全学説明会」の開催

弘前大学が平成26年度に採択を受けた、文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」及び平成27年度に採択を受けた、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」について、教職員・学生を対象とした説明会を、平成28年1月25日(月)に弘前大学総合教育棟1階101講義室において開催し、教職員・学生合わせて111名が参加した。

佐藤学長による挨拶の後、文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室課長補佐の永田昭浩氏によるCOC・COC+の概要説明と、他大学の取組事例の紹介があり、続いて、吉澤企画担当理事より弘前大学のCOC・COC+事業についての説明、伊藤教育担当理事より弘前大学の教育改革についての説明があった。

参加者は各説明に熱心にメモをとるなど、COC・COC+の事業への関心の高さが伺えた。



【3】学生の地元就職・起業支援(ブロック事業)

1. [青森ブロック] 「企業就職セミナー」を開催

平成29年春卒業予定の大学生らに対する企業の採用活動が3月1日解禁されたことを受け、青森中央学院大学経営法学部3年生、青森中央短期大学生らを対象に、企業の人事担当者を招いた「平成27年度 学内企業就職セミナー」を開催した。

本セミナーには、むつ市との連携事業の一環として、むつ下北地区の団体・企業も参加。学生たちは各社の人事担当者が説明する、業界の特色や業務内容などについて、熱心にメモを取り、積極的に質問していた。



2. [弘前ブロック] 「弘前ブロック企業説明会」を開催

平成28年3月18日(金)、COC+の事業概要や大学の就職に関する取組を県内企業等に周知することを目的として「弘前ブロック企業説明会」を弘前大学総合教育棟1階101講義室で開催し、弘前市及び周辺市町村の県内企業等関係者や自治体関係者、大学関係者ら約70名が参加した。

本説明会では、曾我弘前大学副理事から県内企業等へ「企業説明会の積極的な参加」や「共育型インターンシップの受入」、「大学を活用した新商品開発の提案」等への協力を呼びかけた。

次に「青森から日本の就活を変える」をコンセプトとする学生団体「WORK×2(わくわく)ラボ」の平成27年度代表である千葉美輝さんから、団体の取組や、学生が企画運営する就職説明会等の紹介があった。

続いて、弘前大学、東北女子大学、弘前学院大学、弘前医療福祉大学、青森中央学院大学の担当者より、各大学の就職状況と県内就職への取組が説明され、学生の県内就職率向上へ向けて、大学・自治体・企業等が一丸となって取り組む必要性が感じられた。



3. [八戸ブロック] 「あおり県南地域企業内容説明会」を開催

平成28年3月24日(木)、「あおり県南地域企業内容説明会」を八戸プラザホテルで開催し、八戸ブロック内企業57社、学生141名、教職員40名が参加した。

学生に対しては地域の企業を知る企業説明会として、また、地域企業においては大都市圏における求人活動を知るセミナーとして、さらにはブロックの3学の教職員と懇談し情報交換の機会とする目的で実施した。



4. [むつブロック] 「『レッツむつ』座談会」を開催

平成28年1月25日(月)、むつ市内企業等の若手職員と語る「『レッツむつ』座談会」を弘前大学総合教育棟2階206講義室にて開催し、学生10名が参加した。

はじめにむつ市商工観光課の金澤寿々子課長から、むつ市の概況について説明があり、続いて「むつ市での就活・就職に関しての不安」「むつ市での暮らしの良さ・楽しさ」についてのワークショップを行った。

翌日の1月26日(火)には、弘前大学のキャリア教育科目「キャリア形成の基礎」(小磯重隆准教授)の授業の中で「むつ市内企業等による業界研究セミナー」を開催し、講義室の中に9つのブースを作り、企業の方が業界の説明を3回繰り返すことで、学生は3カ所のブースを回ることができ、様々な業界の話聞くことができた。



5. 「弘前大学起業家塾」の開催

弘前大学では、平成27年度から大学の持つシーズを活用したベンチャーの創出と地域産業の発展及びイノベーションの創出に向け、学生や若手研究者の起業(VB)を促進することを目的とした「弘前大学起業家塾」を開催した。

起業家塾は全6回のプログラムで実施し、第1回から第5回まではそれぞれの分野で日本を代表する講師を学外より招聘し、起業のヒントやベンチャー企業の現状等に関する講演を行った。

最終回となる第6回は、弘前大学学生等によるビジネスコンテストを開催し、コンテストに応募した学生等9組によるビジネスプランのプレゼンテーションが行われた。

弘前大学初の試みとして実施した今回の起業家塾では、学生、大学院生、研究者、学外経営者等延べ323名の参加があり、弘前大学における起業家精神の醸成や起業する際の考え方、起業のヒントなどを得ることができ、今後の弘前大学におけるベンチャー起業の立ち上げやイノベーションの創出につながるものとなった。



【4】雇用創出

1. 「白神酵母研究会」の開催

平成28年2月2日(火)に「白神酵母研究会」を弘前商工会議所にて開催し、教職員、企業関係者ら28名が参加した。

本研究会では、弘前大学が世界自然遺産白神山地から採取・分離に成功した「弘前大学白神酵母」の利用拡大について報告があった。

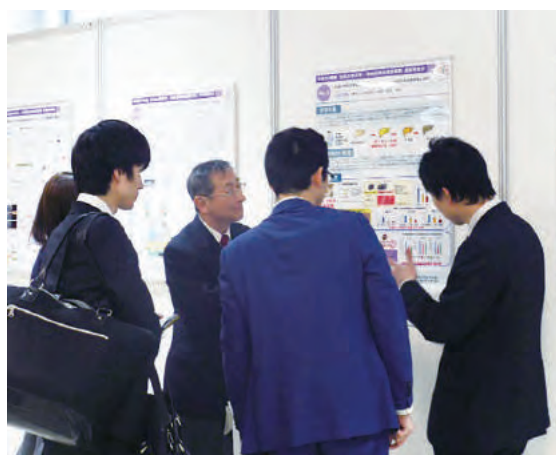
また、事業協働機関である「六花酒造株式会社」が弘前大学白神酵母を用いて試作した、日本酒の試飲などが行われた。



2. 「弘前大学若手・新任研究者支援事業研究成果発表会」の開催

平成28年2月16日(火)、「弘前大学若手・新任研究者支援事業」の採択者によるプレゼンテーション並びにパネル展示等による成果発表会を弘前大学学生会館にて開催し、学内研究者、COC+事業協働機関、報道関係者等約120名が参加した。

本発表会にて多くの参加者に弘前大学の研究成果を公表し、また、研究者同士や研究者と企業とのマッチングタイムを設け、研究の異分野連携やイノベーション創出に向けた情報交換を行った。



3. 「クアオルト推進シンポジウム」の開催

平成28年3月13日(日)、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」におけるツーリズム関連産業プロジェクトの一環として、「クアオルト推進シンポジウム」を青森国際ホテルにて開催し、青森県内各地の保健師、健康づくりサポーター、大学関係者および一般市民など約80名が参加した。

基調講演、地元企業・自治体からの報告および先進事例紹介のあと、山本春江青森中央学院大学看護学部教授が座長となるパネルディスカッションもあり、「浅虫温泉・海山クアの道」でのクアオルトウォーキングを中心に活発な議論が展開され、大変有意義なシンポジウムとなった。

